



むつうら教育支援本部の取り組みと課題

学校地域コーディネーターと地域学校協働本部の役割とは



横浜市立六浦中学校
むつうら教育支援本部 物井真澄
2023.10

むつうら教育支援本部の目的と組織

学校・家庭・地域の連携協力を強化し、
地域全体で学校教育を支援することを目的に、
横浜市教育委員会の
「地域学校協働事業」、「放課後学び場事業」の委託を受け、
2015年度(27年度)から六浦中学校で発足した組織。



学習活動支援

読み聞かせ
図書整備ボランティア
学習支援(放課後学び場)
キャリアデザイン支援
(職業講話・職業体験の支援等)

地域連携支援

フローリスト
(校内花壇整備)
部活動交流会
学区内小学校との連携
むつうら教育支援だより発行
金沢区コーディネーターの連携

保健安全支援

体育祭等の行事支援
見守り活動
(地域、保護司、
少年補導員等との連携)
防災活動支援
健康・安全講座などの開催

「学校・地域コーディネーター」を中心に、
地域住民や保護者で構成。
地域・ボランティアと連携しながら、
六浦中学校生徒及び、学区小学校児童の
健全育成と総合的な教育力を
高めることをめざしている。



むつうら教育支援本部発足の経緯と特徴

- 地域の様々なボランティアはもちろん、中学校を支える中核となるPTAボランティア活動がすでに長年に渡って活発に活動していた。
- ▶□花壇整備ボラ 1995発足。以後活動(月1~2回程度)
- ▶□図書ボラ 2003年度発足。以後活動(月1回程度)
- ▶□読み聞かせボラ 2008年度発足。以後活動(月2~3回程度)
- ▶□部活動交流会 2011年度PTAとは別組織として「部活動支援会」発足。2019年度解散後、部活動交流会に。
- ▶□朝の挨拶・見守りボラ(保護者と地域) 2011年度発足。(初年度から3年間は週3回、現在は週1回)
- ▶□生徒の祭り参加を地域で支援 2005年度から始まる。(校区全地区一斉参加)
- ▶□体育祭の自転車整理や見守り(スポーツ推進委員、青少年指導委員)
- ▶□入学式・卒業式の見守り(少年補導員など)



学校

PTAボランティア組織

花壇整備、図書、読み聞かせ、
見守り、部活動支援など

地域ボランティア組織

自治会役員、青少年指導員、スポーツ推進員、
保護司、主任児童委員、少年補導員など

本部役員と運営委員

定例会議の開催

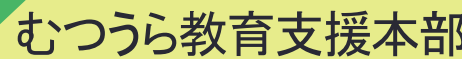
構成する役員と委員、
学校長、副校長、指導
専任参加での定例会議
を29年度までは毎月1
回程度。30年度以降は
2ヶ月に1回開催。

運営上の活動予定や
予算、課題について話
し合い、貴重な情報交
換の場となっている。

- ・ 《代表》元PTA会長（学校地域コーディネーター）
- ・ 《副代表》現PTA会長、元PTA副会長（学校地域コーディネーター）2名
- ・ 《会計》元PTA副会長等、3名
- ・ 《顧問》六浦連合町内会会長、六浦東連合町内会会長 各1名
- ・ 《会計監査》前PTA会長にお願いすることが多い 1名
- ・ 《運営委員》9名
 - 花のボランティア“フローリスト” 代表
 - 図書整備ボランティア 副代表
 - 読み聞かせボランティア〈おはなしの翼〉副代表
 - 青少年指導員各地区代表2名 ● スポーツ推進委員各地区代表2名
 - 朝の挨拶運動代表 ● 部活動交流会代表



▲定例会の様子(会議は学習支援の教室でもあり、昼間は校内ハートフルルームにも)



▲地域の温かい協力に教育委員会から贈られた感謝状と顧問のお二人

読み聞かせ

おはなしの翼

◎2008年度発足。学校行事のない火曜・金曜日の朝読書時間(10分間)、各学年クラス毎に読み手が入り、学校司書と連携しながら絵本や昔話、小説の一節、詩の朗読、素話、本の紹介など、読み聞かせをしている。現在地域、保護者、卒業生など約20名の登録。読み手の年齢層も職種も幅広く、多様な本との出会いを提供。

5/29日の横浜大空襲前後には、空襲の写真資料を掲示しながら、関連書や実際の体験者(読み手)の原稿を語り継いでいる。

コロナ禍の2020年からはビデオでの読み聞かせも試みた。

また、年2回、長期休暇前には読書案内『おはなしの翼通信夏、冬の巻』も発行。

学習活動支援

読み聞かせ

図書整備ボランティア
学習支援(放課後学び場)
キャリアデザイン支援
(職業体験の支援等)

▼読書案内
『おはなしの翼通信夏、冬の巻』



読み聞かせボランティア交流・勉強会▶

六浦中学校区の各小学校の読み聞かせボランティアが本校図書室に集まり、金沢図書館の司書を講師に勉強会を開催。後半は各学校の読み聞かせの様子や運営の課題などを情報共有し交流。2015~2019年と開催。コロナ禍開催できなかったが、今年度4年ぶりに12月に第6回交流勉強会を開催予定。



卒業読み聞かせ▼

3年生の卒業にむけたお話会も11年になる。当日は1時限(50分)で2~3名の読み手が事前に検討作成したプログラムを元に詩や絵本、物語などを読み聞かせている。



▶当日は金沢図書館の司書による読み聞かせ実演も好評



◀当日生徒に配るお話会のしおり

具体的な活動

図書整備

◎2003年度発足。
現在約15名の登録。
PTAと卒業生の保護者
(地域)が参加し、学校
司書と連携しながら、
書架の整備や廃棄本の
の整理、本のカバーが
け、季節にあわせた
ディスプレイなどの作
業を月1回程度活動



学習活動支援

読み聞かせ

図書整備ボランティア

学習支援(放課後学び場)

キャリアデザイン支援

(職業体験の支援等)



パソコンで書架の本の在
庫確認等も学校司書と協
力しながら行う



各クラスに設置する朝読
書のための学級文庫本の
整理配備も手伝う。



学習支援

『むつうらスタディルーム』

◎2016年9月「放課後学び場事業」委託を受けて発足。2017～2022年度は毎週金曜日、今年度は毎週火曜日**部活動終了時から1時間半**、空き教室を使つての学習支援『むつうらスタディルーム』を開設。

◎**地域スタッフ・サポーター、大学生サポーター**が見守る中、1年から3年までの中学生20人前後が楽しく**自学習**に取り組んでいる。

◎終了後、サポーターはその日の生徒の様子や学習状況などを振り返り、次のサポートにつなげる。

生徒の登録は年度始めに全学年一斉募集(最大30名)。毎年20人～25人参加。

参加は任意だが、**保護者の同意と保護者の面談**をスタート時に行う。生徒に**アンケート**をとり、どんな形で参加したいか、どんな教科をがんばりたいかを確認。保護者の面談での希望もあわせて学習支援に生かしている。受験生の進路相談や面接指導も適宜行う。今年度からは各学年の生徒面談も行い個々のニーズに合った効果的な支援を目指す。



学習活動支援

読み聞かせ

図書整備ボランティア

学習支援(放課後学び場)

キャリアデザイン支援

(職業体験の支援等)

大学生サポーター

今年度は大学生サポーターが11名登録。授業など、大学生生活を優先してもらいながら毎回4名前後の学生が参加。地域サポーター、地域スタッフが見守るなか学習支援をしている。

地域サポーター、スタッフ

★コロナ禍以降現在も受付では、出席カード提出とともに検温、消毒、体調確認を行い生徒の健康に留意。室内はとくに換気に気を配っている。



学習支援

『むつうらスタディールーム』

各大学や地域で掲示・配布する募集案内

学生サポーターの募集と登録

◎近隣の**大学2校のボランティアセンター**に登録して**随時募集**。

放課後部活終了後、おおよそ5時以降から始まるボランティアなので、大学生の授業やサークル活動、バイトの関係もあり、**恒常的な人材不足の状態**である。

大学のボランティアセンターや知人からの紹介や学生サポーター自身からの紹介が多い。委員会からの教職志望の学生の紹介もある。

幸い、多くの学生サポーターが卒業するまで毎年継続して参加してくれているのはありがたい。

◎登録した学生サポーターには**個人情報**の管理や多感な思春期の生徒をサポートすることについて事前に説明し、留意点などは文書でも渡すことにしている。

◎地域からもサポーターが参加してくれ、心強い。しかし特別な資格は求めてはいないものの中学生の学習支援ということもあってハードルは高く、なかなか人材は集まらない。

地域の支援として、生徒やサポーターに町内会などから差し入れがあることも。またスタッキングできる長机の寄付やカーテンの寄付などもしていただき、大変ありがたい。

中学生の学習サポーターになりませんか！ 放課後の学び場

【むつうらスタディールーム】 学生&地域ボランティア募集

今年度は
5月9日
火曜日から
スタート！

金沢区にお住まいの皆さん、こんにちは！
金沢区六浦地区にある、横浜市立六浦中学校のむつうら教育支援本部です。

むつうら教育支援本部では、2016年10月から中学生の学習支援を目的に、放課後の学び場として中学校内に【むつうらスタディールーム】を開校、運営して8年目となりました。

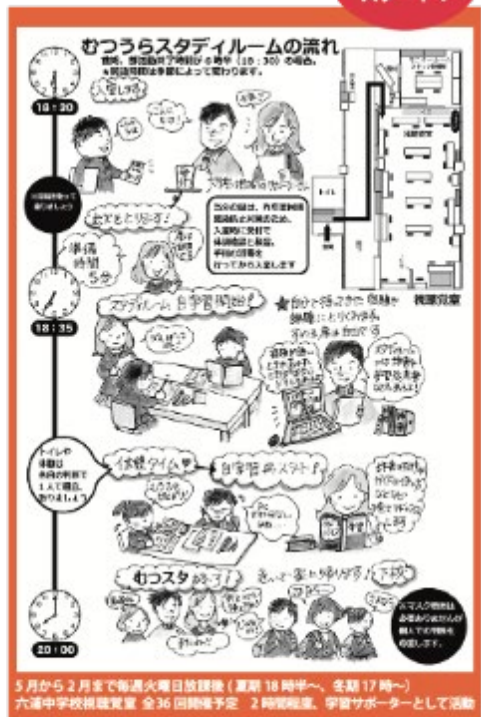
中学校では、学習内容や学習方法など小学校との違いも大きく、どのように自学習していれば良いか、思うように学習に取り組めないなど、学年が進む中で悩んでいる子どもたちも多いです。

【むつうらスタディールーム】は、大学生や地域のボランティアがサポーターとして入り、自学習のやり方や予習・復習の習慣化などをアドバイス・見守ることで不安や課題を解消し、生徒自身の学習意欲を高められるよう支援するものです。毎年20名前後の子どもたちが登録し、放課後自学習にがんばって取り組んでいます！

今年度は**火曜日**の放課後部活動終了後（夏期18時半～、冬期17時～）1時間半程度、生徒が持参した宿題や課題に取り組むのをサポートする予定です。

一般の学習塾とは異なり、高校受験に特化したり、講師が独自のテキストで講義をしたりするものではなく、あくまでも**生徒自身の自学習をサポートするものです**ので、特別な資格は必要としません。そこで、子どもたちを見守るボランティアサポーターを募集！和やかな学習室で、生徒の学びに寄り添う、やりがいのあるボランティアです。ぜひ中学生の豊かな成長のためにお手伝いくださいませんか。

サポーターを考えている方や興味のある方は、**むつうら教育支援本部**
代表 物井（モノイ）
email: rurie@iware.ne.jp
までご連絡ください。



5月から2月まで毎週火曜日放課後（夏期18時半～、冬期17時～）六浦中学校棟職員室 全36回開催予定 2時間程度、学習サポーターとして活動

見学もできますよ！
（むつうら教育支援本部）とは
学校・家庭・地域の連携協力を強化し、地域全体で学校教育を支援する体制を推進することを目的に、横浜市教育委員会の学校支援活動事業の委託を受け、27年度から六浦中学校で発足した組織です。当本部は「学校・地域コーディネーター」を中心に、保護者や地域住民等で構成。地域・ボランティアと連携しながら、六浦中学校生徒及び、学区小学校児童の健全育成と総合的な教育力を高めることを目指しています。

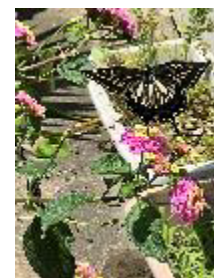
校内花壇整備 フローリスト



地域連携支援
フローリスト
(校内花壇整備)
部活動支援会
学区内小学校との連携
むつら教育支援だより発行
金沢区コーディネーターの連携



◎本校のボランティア活動としては最も長い期間続いている。1995発足。10人程度で活動。月1～2回程度、地域、保護者ボランティアが楽しく花壇やプランターの手入れを続けている。入学式や卒業式、六中祭の前にはPTA保健委員会と協力し、花壇の植え替えなどを実施。1年中季節の花々で咲き誇る校内に地域から訪れる人も多い。



29年度の創立70周年では職員、生徒、PTAと協力し、花壇整備や記念植樹などを行った。



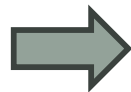
部活動支援会



部活動交流会

◎2011年度(23年度)PTAとは別組織として発足。部活動に関わる様々な課題を検討しながら、主に

- ◆**財政的支援**(道具や備品の整備、顧問の交通費、関東大会以上の経費支援)
 - ◆**人的支援**(指導者・コーチなどの人材確保、引率等の補助)
 - ◆**精神的支援**(保護者の情報共有とコミュニケーション、部活動への理解・情報発信、顧問への支援)
- 役員6名が顧問代表と連携して活動(月1~2回程度)



◎**2019年度**、部活顧問の交通費などが市から支給されることになったのと、役員の人材不足もあり**解散**。コミュニケーションの場として、支援本部内にて部活動交流会として残す。

当時まで積み立てていた地域や卒業生からの寄付の支援金全額(約100万)を体育祭での熱中症対策として**テントを購入し寄付**した。

支援本部定例会、学校運営協議会などで学校の部活動指導体制の見直し(部活動支援員の配置など)の情報共有、意見交換を行う。

地域連携支援

フローリスト
(校内花壇整備)

部活動支援会

学区内小学校との連携
むつうら教育支援だより発行
金沢区コーディネーター
の連携

2013年度に部活動の**応援横断幕**を作成。
翌年は生徒の図案も募集し、横断幕を作成。
2018年度は壊れかけていたグラウンドのネットを新しくした。また全国大会に出場した陸上部の**懸垂幕**を製作、掲示した。
また製薬メーカーの講師を迎え、**成長期の運動と栄養・水分補給の講座**を部活保護者会代表者と顧問代表が集まる代表者会にて実施。



具体的な活動

広報活動

◎広報活動として年に2回支援だよりを発行。
また、より活動を理解してもらうために2021年に
パンフレットも制作。各方面に配布している。

▼パンフレット

中学生の学習サポーターになりませんか!
放課後の学び場
【むつらスタディールーム】
学生&地域ボランティア募集

このパンフレットは、むつらスタディールームの活動を紹介し、中学生の学習サポーターや学生・地域ボランティアを募集するためのものです。表紙には「中学生の学習サポーターになりませんか!」という大きな見出しがあり、放課後の学び場としての魅力を伝えています。

むつらスタディールーム
むつら教育支援本部
六瀬の子どもたちの
豊かな成長と学びのために

このパンフレットは、むつらスタディールームの内部の様子や、子どもたちの活動の様子を写真で紹介しています。タイトルには「むつらスタディールーム」と「むつら教育支援本部」が記載されており、六瀬の子どもたちの豊かな成長と学びのために活動していることが強調されています。

学校と地域が輝やかに連携して子どもたちを育みます

このパンフレットは、学校と地域の連携をテーマにした図解です。中央には「学校運営協議会」があり、その周囲には「地域学校協議会」、「PTA」、「学校」、「PTA」、「地域」などが配置されています。また、「学校運営協議会」の下には「学校運営協議会」の役割や「地域学校協議会」の役割が説明されています。

地域連携支援

フーリスト
(校内花壇整備)

部活動支援会
学区内小学校との連携
**むつら教育支援
だより発行**



▼年2回、支援だよりを発行

むつら教育支援だより

この支援だよりは、むつら教育支援本部の活動を広く知らせるためのものです。表紙には「むつら教育支援だより」という大きな見出しがあり、下部には「さまざまな活動をのぞいてみる」というサブタイトルが記載されています。

むつらスタディールーム
今年度も無事に開催できました

この支援だよりの内容ページには、むつらスタディールームの今年度の活動報告や、今後の予定などが掲載されています。写真やイラストを交えて、活動の様子を詳しく紹介しています。

むつら教育支援だより
卒業を迎える皆さんへ

この支援だよりの内容ページには、卒業を迎える子どもたちへのメッセージや、今後の活動についてが掲載されています。写真やイラストを交えて、活動の様子を詳しく紹介しています。

むつらスタディールーム
今年度も無事に開催できました

この支援だよりの内容ページには、むつらスタディールームの今年度の活動報告や、今後の予定などが掲載されています。写真やイラストを交えて、活動の様子を詳しく紹介しています。

コーディネーターの連携

金沢区小・中学校 「学校・地域コーディネーター 連絡交流会」開催

横浜市教育委員会、金沢区子ども家庭支援課学校連携担当に協力いただき、金沢区の各小・中学校の学校・地域コーディネーターに声をかけ、**連絡交流会を年2回程度開催**（2019年3月第1回開催。第7回交流会は今年2月開催。今回で8回目）

各学校での活動状況や課題、運営上の悩みなどを共有し、少しでも解決や活動の一助になればと考え開催。毎回参加校参加者は年々増加。**貴重な交流の場**となっている。

今年度は10月4日に開催（15校26名参加）。来年2月にも開催予定。



地域連携支援

フローリスト

（校内花壇整備）

部活動支援会

学区内小学校との連携

むつうら教育支援だより発行
金沢区コーディネーターの連携

見守り活動



◎2011年度（23年度）落ち着きの無い生徒が多かったなか、PTA役員、常任委員会が中心になって保護者から生徒に挨拶をしよう！と提案。当時の校長先生や教職員の皆さんも賛同してくれ、教育委員会のサポートもあり、地域にも呼びかけた「**六浦中生徒を見守る会**」が秋から発足。当時は火曜・金曜日は保護者全員が輪番で教職員と挨拶に立ち、水曜日に地域の皆さんが挨拶に立ってくれた25年度までこの形で続き、学内は徐々に落ち着き「**六浦中生徒を見守る会**」は2013年に発展的解散。

現在は地域の見守りの方の**高齢化で参加が難しくなったが、火曜日に保護者、教職員が校門に立って挨拶**をし、校内では生徒も進んで挨拶している。

保健安全支援

体育祭等の行事支援

見守り活動

防災活動支援

健康・安全講座等の開催

課題として

学校の現状と
ニーズ

PTA・地域
ボランティア組織

学校地域コーディネーター

すでにボラ
ンティア活
動・団体が
学校にある

学校にボラ
ンティア活
動・団体も
ない

どう把握し、良い関係性を維持していくのか
何が子どもたちの成長の糧になっていくのか

PTAとの関係
PTA 主体のボランティ
ア組織との関係

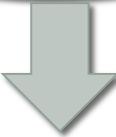
※学習支援に於けるスタッフ
や地域・学生サポーターの
継続的確保の難しさ
※コーディネーターやボラン
ティアの継続的確保の難しさ

コーディネーターの
立ち位置の難しさ

ニーズ把握の難しさ
現場教職員の本事業や
コーディネーターに対する
認識差や温度差
人材不足・負担増※
地域との関係性

学校
管理職の異動

町内会や自治会、地
域でどのように人材を
見つけ、声をかけて
いったらいいのか



学校全体・教職員の理解、コミュニケーションの必要性
人材支援について、大学ボランティアセンターへの行政からの働きかけ
財政的支援の強化と諸手続きの簡略化
地域人材の掘り起こしへの行政的支援





運営の工夫と無理なく継続するために



コーディネーターの役割とは

コーディネートに徹するのか
活動がメインなのか
両者の場合か

組織(しくみ)をつくる

学校やPTA、地域の中での位置づけが運用や活動をスムーズにする
定例会などを通して、
地域との連携もとりやすくなる。

予算をたてる

その組織の活動を支える核
運営の計画、活動内容を吟味し、
振り返り、次に繋げる

無理をしない

できる範囲で、
楽しくやれる範囲で
あくまでもボランティアですから。

仲間をつくる

継続していける仲間と、
新しい仲間をどう確保していくか
一緒に伴走できる仲間(チーム)の大切さ
ざっくばらんに話し合える環境。

コーディネーター同士の交流

苦労や楽しさを知っているからこそ、理解しやすく、継続の知恵や工夫も共有できる。
◎同じ学校内のコーディネーター同士、
◎学区間、金沢区内の交流も！



学校、PTA、地域とのコミュニケーションを密に

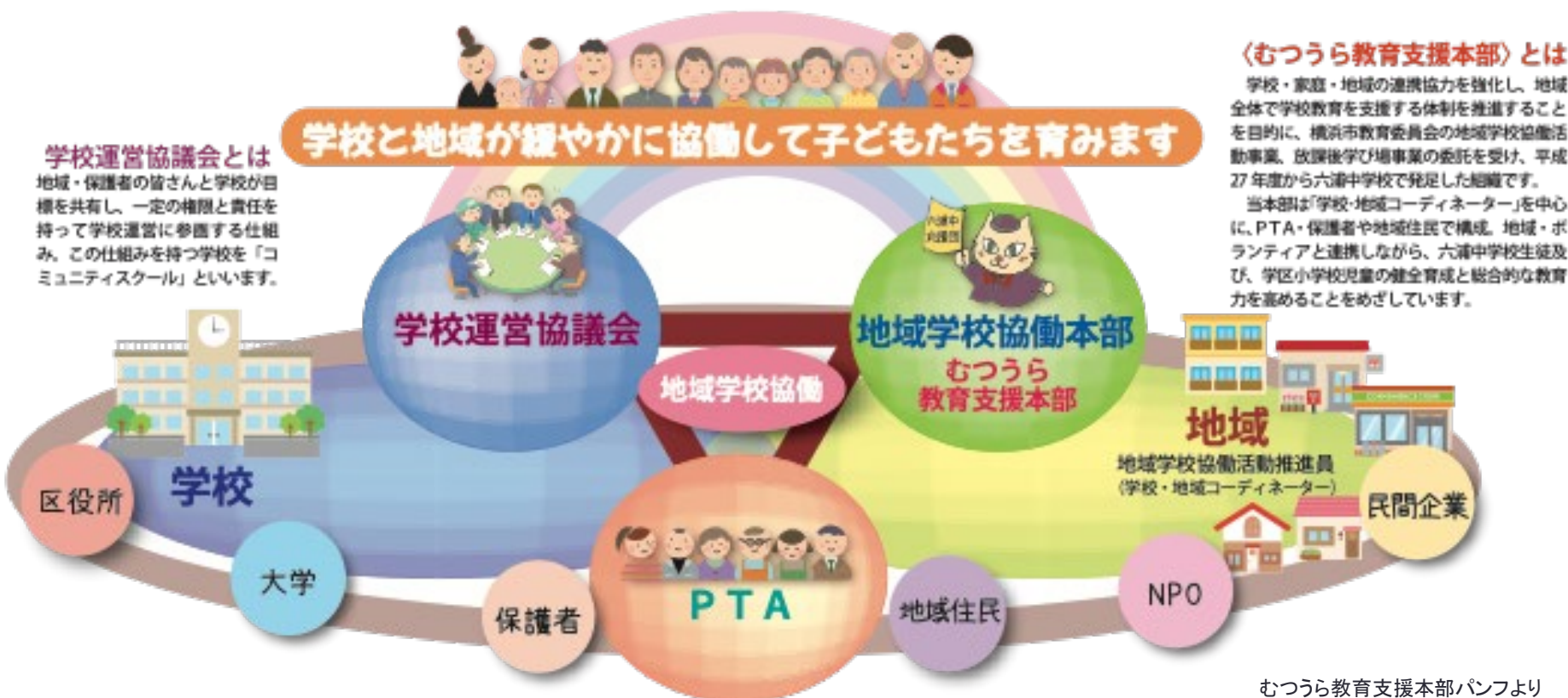
学校やPTA、地域の行事やイベントに参加したりすることで
コミュニケーションもとりやすくなり、ボランティアの募集や地域への協力・連携など、依頼しやすくなる



◎後任を探すにはどうすれば良いか。
PTAもあまり動きがない。
◎学校とのスタンスの取り方
◎コロナ禍のなかで立ち上がったので、どんなことをコーディネートしていいのかわからないのか、私たちも学校もわからない
◎研修では、学校から依頼があって動き出すものでコーディネーターが勝手にあれこれやらないでとのこと。
学校からの依頼がなく活動がほとんどない場合はどうしたらいいのかわからないのか
◎今までは学校主導で行われてきた活動をコーディネーターに移行しようとする流れに戸惑いを感じている(PTA主導のボラ活動も)

地域学校協働

地域学校協働本部と学校運営協議会 そしてPTAとの連携





ご清聴ありがとうございました！



むつら教育支援本部